

第46号
平成24年
9月
HPに 創刊号から
連載中

もう一つの道

情報は、うのみにせず、注意深く徐々に試してください。

山田整骨院
熊本市中央区出水4-25-1
096-364-7611

<http://yamadasu.com/>

熊本交通事故、山田整骨院

<http://www.jiko-kumamoto.net/>

精神科医は 今日も、やりたい放題
“やくざ医者”の、過激ながらも大切な話

これは現役精神科開業医である内海聡医師の本のタイトルです。一言で言えば、本人を含めて現在の精神科医療の問題点を反省し、公開して、患者さんやご家族に注意を喚起して、間違いのない受診を示唆するものです。

精神医学は、やりたい放題

精神医学は精神症状を「脳の異常」としてとらえようとする…略…脳の異常というが、精神医学において、いまだに疾患の原因は科学的に分かっていない。薬物の効果についても同様である。今ある疾患理論、薬物理論というのはすべて2012年現在でも仮説である。…略…日本の精神科病院は先進国中最多で、全国の入院患者数は31万人を超える。…略…また何十年も精神科病院に閉じ込められている患者が数万人いて、世界中の人権団体から非難されている。…略…

私が精神医学を「詐欺」と呼ぶワケ

「なぜ精神疾患が詐欺なのか？」…略…なぜ「精神症状」でなく「精神疾患」であるか…略…人間がさまざまな精神症状を呈さないとは、決して言わない。精神症状というのは万人に必ず存在する普遍的なものである。不安、脅迫感、うつ状態…略…何かが必ずあるものだ。問題はなぜ精神疾患が「詐欺」で、精神症状は「詐欺」ではないか…略…現実として行われている手法は…略…普通に存在する精神症状を、あたかも「精神疾患＝医師が治療しなくてはいけない病気」と思わせるために、多くのチェックリストを作り、新聞やテレビ上で、その疾患に当てはまるかもしれないと不安を煽り、精神科に受診させようとキャンペーンを張る。…略…それらは思いやりに満ちた行為に見えるが、…略…人々にラベルを貼り、不安を煽ることで、精神薬を売り上げようという、精神科が儲けるための戦略なのである。…略…

これは病気ではない

1. 最も流行の精神疾患「発達障害」…発達障害は「人間そのもの」であり、

…略…大人たちが子育てにおける自分たちの無能を隠すための隠れ蓑に過ぎない。…略…

2. いい加減でおかしい病名「うつ病」…うつ病は脳の疾患で…とうたわれたが、では脳のどこの疾患なのか、何が原因なのかきちんと答えられるものは一人もいない。…略…

3. 親の詐欺的行為？「心的外傷後ストレス症候群（PTSD）」…PTSDという病名もある。確かにその状態は存在するかもしれない。しかしそうすると、やはりほぼすべての人間がPTSDになる。以下略。

精神科に騙されないために

相談すべき精神科医は

1. 精神科の診断名などというものは「いい加減極まりない」と認識している
2. 精神科の診断名などというものは「便宜上」であることを知っている
3. 精神薬を使わない、もしくは使っても頓服程度にとどめて使う
4. 精神薬がただの対症療法だと認識している
5. 決して精神薬を「一生飲み」などと言わない
6. 通院することを本人の意思に任せている
7. 薬を飲むか飲まないかも本人の意思に任せている
8. 薬の危険性や依存性を説明する
9. 1分診療などしない（せめて5分～10分くらいは）
10. 必要な場合、カウンセラーなど用意している
11. 他の精神科医と比べて法外な値段を要求しない（月に数万や数十万と言うところあり）
12. 福祉や他の業界との連携が出来ている
13. 厳しい意見や嫌なことを本人や家族に言える（温和に言える人ならベスト）
14. 薬やカウンセリング以外に、何をすれば良くなるかを指導してくれる
15. 具体的に自分をどう鍛えるべきかを教えてくれ、試練を与えてくれる
16. 医師自身が自分を〇〇障害であると言えるくらいの医師の方が良い
17. 最終目標が「受診を終わりにする」の医師である
18. 安易に障害年金や生活保護を勧めない

あ と が き

衝撃の内容でした。ここまで書いて大丈夫なのかというのが率直な感想です。私も常々精神科の薬物療法は、最終的に薬物から離れることが出来るのか、出来ないなら治ったことにならないのではないかと思っていました。このような立派な医師が問題提起してくれて、感謝です。